70 シリーズ スーパーインポーズ機能付 ロゴ・ジェネレーター

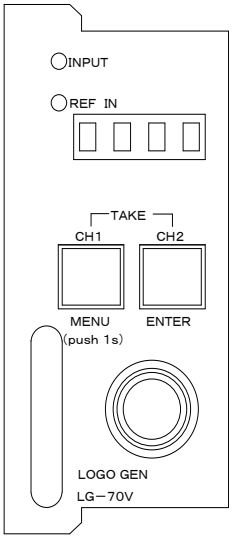
LG-70V

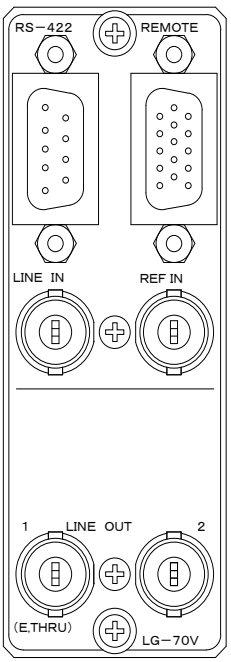
LG-70V は、“ちょい待ち”やネットマークなどカラー静止画を内蔵フラッシュメモリーに記録し、LINE 信号にスーパーインポーズして出力します。2 レイヤーのスーパー信号を LINE 信号にスーパーインポーズして出力することも可能です。

カラー静止画はパソコンなどで作成した JPEG ファイルを筐体実装の LAN から専用アプリケーションで LG-70V へ転送(アップロード)します。静止画は最大 16 枚登録することができ、プリセットパターンとして任意の静止画 2 枚をプリセットすることができます。プリセットパターンには表示位置、自動送出モード等の設定を持つことができ、専用アプリケーション又はモジュール正面操作機で設定変更を行います。プリセットパターンは 10 パターン登録でき、外部 10 接点で制御することができます。エマージェンシースルーにも対応しており本線系にも安心してご使用いただけます。

■特 長

- ✓ LINE 信号に 2 レイヤーの FILL+KEY 静止画ファイルをスーパーインポーズして出力 ※1
- ✓ CH1(レイヤー1), CH2(レイヤー2)の個別 ON/OFF 可能
- ✓ 任意に選択したファイルを指定の時間で切り替えて送出する自動送出モード
- ✓ 静止画ファイルはフラッシュメモリーに保存
- ✓ 電源投入時に全ての静止画をフラッシュメモリーから描画メモリーに転送しますので、瞬時に画面を切り替えることが可能
- ✓ リファレンスは BBS 信号、3 値 SYNC に対応
- ✓ 静止画ファイルは最大 1920×1080 ドット(525i は 720×486 ドット、625i は 720×576 ドット)
- ✓ カラー静止画ファイル(JPEG、TARGA、TIFF)は専用アプリケーションで転送 ※2
- ✓ 1 つのモジュールからリファレンス信号を他のモジュールに分配する REF MASTER/SUB 機能 ※3
- ✓ LINE 信号の ANC データーは全て通過 ※4





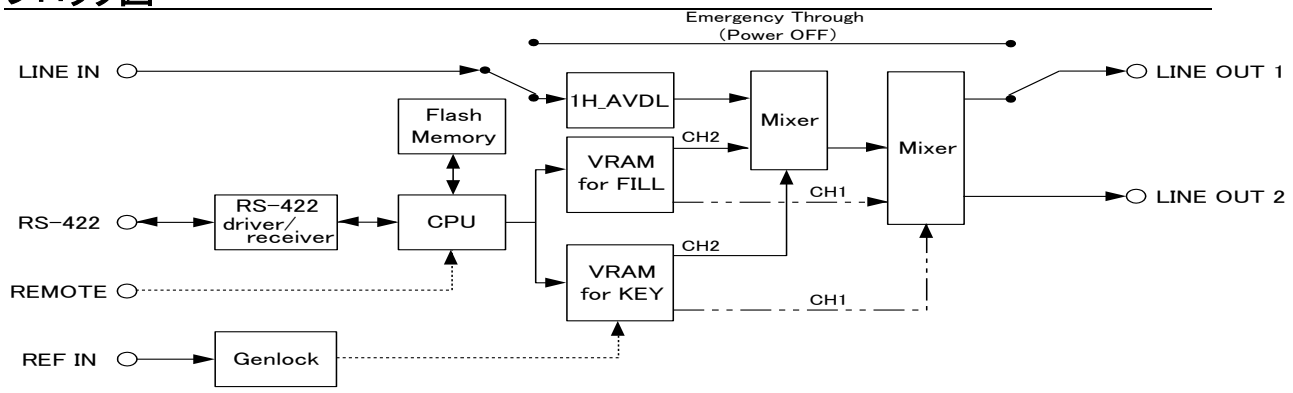
※1 プライオリティは CH1(レイヤー1)が上になります。

※2 専用アプリケーションは、付属の CD-ROM から PC にインストールしてご使用ください。

※3 同一筐体内に、他のコントローラー系モジュール(TLG-70BC、VT-70BC 等)が存在する場合、REF MASTER モードは使用できません。

※4 LINE 信号が引き込み範囲を外れた場合、LINE 映像と共に ANC データーはライン落ちします。

ブロック図



機 能

静止画ファイル	
・画像サイズ	HD：1920×1080、SD：720×486（525i）、720×576（625i）
・転送画像フォーマット	32bit非圧縮TIFF形式（RGBα） 非圧縮TARGA形式（αチャンネル付き） JPEG形式(24bit RGB各8bit) ※JPEGファイルを表示するときのKEY出力は、100%キーを出力します。
・登録枚数	16枚 （Key付き静止画） 静止画ファイルの転送は専用アプリケーションで行います。
・プリセット	フラッシュメモリーに記録した 16 枚の静止画の中から任意の 2 画像を選択し、プリセットパターンとして 10 個登録できます。表示位置設定等は専用アプリケーション又はモジュール正面操作機で行います。
外部制御	
・プリセット選択	登録したプリセットパターンは 10 個の接点で直接切り替えることができます。接点入力後、2 フレームで切り替わります。
・TAKE1	CH1 スーパーの ON/OFF 制御ができます。
・TAKE2	CH2 スーパーの ON/OFF 制御ができます。
スーパーインポーズ	LINE 信号に静止画ファイルをスーパーインポーズすることができます。
エマージェンシースルー	電源 OFF、またはモジュールを筐体から引き抜いた時、エマージェンシースルー機能が働き、LINE 信号がスルーします。エマージェンシースルーに対応した出力は LINE OUT 1 のみです。

専用アプリケーションPC推奨動作環境

・OS： Windows 7 Professional/Ultimate 32/64bit、Windows 8.1 Pro 32/64bit、Windows 10 Pro 32/64bit、Windows 11 Pro 64bit

・CPU： 1GHz 以上

・RAM： 2GB 以上

・ハードディスク空き容量： 20GB 以上

・モニタ： 1024×768 ピクセル以上 65536 色以上

・LAN： 10/100BASE RJ-45 端子

操作概要

本体前面のディスプレイと、MENU、ENTER ボタンで下図の操作が出来ます。

- MENU
  - FORMAT 【FORM】 映像 フォーマットを選択します。
    - 59i 【 59i 】 1080i/59フォーマット
    - 50i 【 50i 】 1080i/50フォーマット
    - 525i 【 525i 】 525i/59フォーマット
    - 625i 【 625i 】 625i/50フォーマット
  - REFERENCE 【 REF 】 リファレンス信号分配モードを選択します。
    - EXT_DIRECT 【EDIR】 REF信号に同期し、リファレンス信号を分配しません。
    - EXT_MASTER 【EMST】 REF信号に同期し、リファレンス信号を分配します。
    - EXT_SUB 【ESUB】 REF信号を筐体内バスから受信します。
  - PRESET 【 PRE 】 プリセットパターンを設定します。
    - PRESET1 【PRE1】 PRESET1の 設定です。
      - CH1 【 CH1 】 CH1の設定です。
        - 【1＜1】 CH1に出力するファイルを1～16で選択します。
        - DISP 【DISP】 CH1の表示/非表示を選択します。
          - ON 【 ON 】 CH1を表示します。
          - OFF 【 OFF 】 CH1を非表示します。
        - H POSI 【 H 】 水平方向の表示位置を設定します。
          - 【 0 】 HD:0～1919, SD:0～719の範囲で設定します。
        - V POSI 【 V 】 垂直方向の表示位置を設定します。
          - 【 0 】 HD:0～539, 525i:0～242, 625i:0～287の範囲で設定します。
        - ON TAKE 【ONTK】 スーパーON時のトランジションの設定をします。
          - CUT 【 CUT 】 トランジションをCUTに設定をします。
          - FADE 【FADE】 トランジションをFADEに設定をします。
        - OFF TAKE 【OFTK】 スーパーOFF時のトランジションの設定をします。
          - CUT 【 CUT 】 トランジションをCUTに設定をします。
          - FADE 【FADE】 トランジションをFADEに設定をします。
        - FADE SPEED 【ONFS】 スーパーON時のフェードスピードの設定をします。
          - 【 10 】 1～150フレームの範囲で設定します。
        - FADE SPEED 【OFFS】 スーパーOFF時のフェードスピードの設定をします。
          - 【 10 】 1～150フレームの範囲で設定します。
        - KEY LEVEL 【KLEV】 KEYレベルを設定します。
          - 【 100 】 0～200の範囲で設定します。元のKEYレベルを100とします。
      - CH2 【 CH2 】 CH2の設定です。
      - AUTO 【AUTO】 自動送出モードの設定です。
        - AUTO RUN 【ARUN】 自動送出モードのON/OFFを選択します。
          - ON 【 ON 】 自動送出モードをONにします。
          - OFF 【 OFF 】 自動送出モードをOFFにします。
        - FILE 【 FILE 】 自動送出させたいファイルを選択します。
          - 【 1_＊ 】 自動送出させたいファイルを1～16で選択します。＊は選択ファイル。
          - H POSI 【 H 】 水平方向の表示位置を設定します。
            - 【 0 】 HD:0～1919, SD:0～719の範囲で設定します。
          - V POSI 【 V 】 垂直方向の表示位置を設定します。
            - 【 0 】 HD:0～539, 525i:0～242, 625i:0～287の範囲で設定します。
          - ON TAKE 【ONTK】 スーパーON時のトランジションの設定をします。
            - CUT 【 CUT 】 トランジションをCUTに設定をします。
            - FADE 【FADE】 トランジションをFADEに設定をします。
          - OFF TAKE 【OFTK】 スーパーOFF時のトランジションの設定をします。
            - CUT 【 CUT 】 トランジションをCUTに設定をします。
            - FADE 【FADE】 トランジションをFADEに設定をします。
          - FADE SPEED 【ONFS】 スーパーON時のフェードスピードの設定をします。
            - 【 10 】 1～150フレームの範囲で設定します。
          - FADE SPEED 【OFFS】 スーパーOFF時のフェードスピードの設定をします。
            - 【 10 】 1～150フレームの範囲で設定します。
          - KEY LEVEL 【KLEV】 KEYレベルを設定します。
            - 【 100 】 0～200の範囲で設定します。元のKEYレベルを100とします。
        - TIME 【 1s 】 ファイル切り替え間隔を1sec～60secの範囲で設定します。1sec単位。
        - LOOP 【LOOP】 自動送出のループ再生ON/OFFを選択します。
          - ON 【 ON 】 自動送出モードのループ再生をONにします。
          - OFF 【 OFF 】 自動送出モードのループ再生をOFFにします。
    - PRESET10 【PR10】 PRESET10の設定です。
  - CONTROL 【CONT】 制御方法を選択します。
    - REMOTE 【REM 】 GPI制御します。
    - PRESET1 【PRE1】 PRESET1を出力します。
    - ⋮
    - PRESET10 【PR10】 PRESET10を出力します。
  - REMOTE TAKE 【RTAK】 外部制御TAKEのオルタネイト/トリガーを選択します。
    - ALTERNATE 【 ALT 】 外部制御TAKEをオルタネイト制御します。
    - TRIGGER 【TRIG】 外部制御TAKEをトリガー制御します。
  - OUTPUT PHASE 【PHAS】 リファレンスに対する出力信号の位相調整を行います。
    - H PHASE 【 H 】 水平方向の位相調整です。
      - 【 960 】 HD:±1920, SD:±720の範囲で設定します。
    - V PHASE 【 V 】 垂直方向の位相調整です。
      - 【 0 】 HD:±562, SD:±262の範囲で設定します。
  - VERSION 【 VER 】 本機バージョン情報を表示ます。

定 格

入力信号	
・ REF IN	BBS、0.43Vp-p/75Ω、BNC 1系統 または3値SYNC、0.6Vp-p/75Ω、BNC)
・ LINE IN	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p/75Ω、BNC 1系統
出力信号	
・LINE OUT 1、2	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 各1系統
外部I/F	
・REMOTE(PARALLEL)	Dsub-15(f)高密度タイプ、インチネジ 1系統 接点入力×12
・RS-422	Dsub-9(f)インチネジ 1 系統
映像フォーマット	HD:1080i/59.94、1080i/50 SD:525i/59.94、625i/50
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(但し、結露なきこと)
消費電力	6VA (5V,1.2A)

性 能

入力特性	
・LINE IN	
分解能	10bit
サンプリング周波数	HD:74.18MHz、SD:13.5MHz
イコライザー特性	HD:100m/5CFB、SD:300m/5CFB
反射減衰量	HD:5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上 HD:742.5 MHz～1.485 GHz 、10 dB 以上 SD:5 MHz～270MHz 、15 dB 以上
出力特性	
・LINE OUT 1、2	
分解能	10bit (FILL、KEY ファイルは 8bit)
サンプリング周波数	HD:74.18MHz、SD:13.5MHz
信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
反射減衰量	HD:5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上 HD:742.5 MHz～1.485 GHz 、10 dB 以上 SD:5 MHz～270MHz 、15 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD:270ps 以下(20%～80%間) SD:0.4ns～1.5ns(20%～80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD:1.0UI、SD:0.2UI
映像入出力最短遅延	HD: 約 1.0μs、SD: 約 3.0μs

REMOTE仕様（PARALLEL）

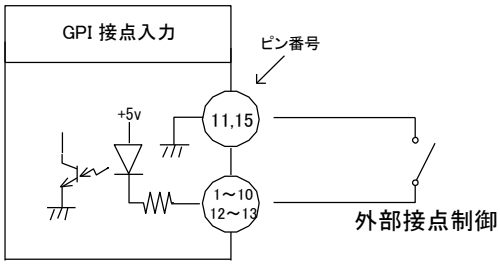
APCなど外部装置から表示画面の切り替え制御ができます。

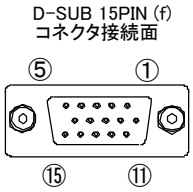
ピン番号	信号	機能
1	PI0	プリセット 1～10 ※1、※2
2	PI1	
3	PI2	
4	PI3	
5	PI4	
6	PI5	
7	PI6	
8	PI7	
9	PI8	
10	PI9	
11	GND	グランド
12	PI10	TAKE1：CH1 スーパーの表示制御 ※2、※3
13	PI11	TAKE2：CH2 スーパーの表示制御 ※2、※3
14	PI12	未使用
15	GND	グランド

※1 100msの接点トリガーで制御します。後取り優先です。複数のトリガーが同時に発生した場合、プリセット番号の若番が出力されます。

※2 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※3 オルタネイト制御／トリガー制御切替可。





RS-422仕様

通信速度 19200bps

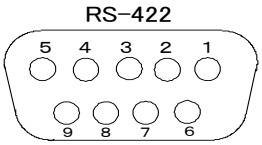
ビット構成　スタート:1 ビット　データ:8 ビット　パリティ:なし　ストップ:1 ビット

ピン番号	信号名	入出力
1	GND	–
2	TXD-	出力
3	RXD+	入力
4	GND	–
5	+5V_OUT	–
6	GND	–
7	TXD+	出力
8	RXD-	入力
9	GND	–

※GPI-70V接続専用コネクタ

D-SUB9PIN（f）

コネクタ接続面



※注外観及び仕様は変更することがあります。